

土浦駅西口再開発ビルの利用者数は年間520万人



昭和60年頃の土浦駅前(西口)

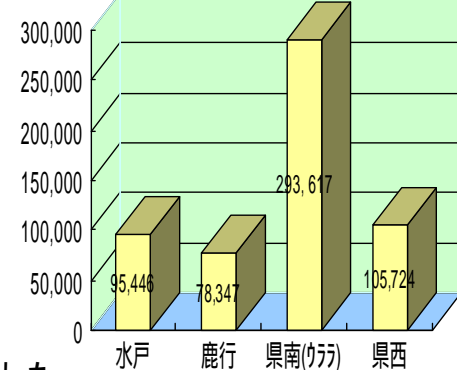
土浦駅西口は、駅前でありながら商店街の衰退と老朽化した低層木造住宅の密集地で、道路は狭く、公園等の公共施設も不十分な地域でした。

そこで、商業・住宅等施設に加え、土浦市総合福祉会館や県南生涯学習センター等の公益的施設も立地した大型施設を整備しました。

さらに、道路・公園・駐車場等を整備し、周辺住民及び来街者の利便性が向上しました。

再開発ビルの利用者数は年間520万人で、土浦市の人口の約40倍となっています。

生涯学習センター年間利用者数 (人) (H16年度)



(主な施設の利用者数)
(H16年度)

・商業施設	約450万人/年間
・茨城県南生涯学習センター	約30万人/年間
・土浦市総合福祉会館	約13万人/年間